



あけましておめでとうございます！昨年もトキ野生復帰へのご協力をいただき、ありがとうございました。島内のトキは、繁殖期に向けて羽の色が変わりはじめています。トキ（酉）年となる今年、どんな姿を見せてくれるか期待が膨らみます。

◀冠羽が美しいトキ

■佐渡島内のトキの動き（2016年12月）

➤ トキめきの羽色変化

首から背中にかけて羽が黒くなる羽色変化が確認されました。2月頃より本格的にはじまる繁殖期にかけて、だんだんとおめかし（羽色変化）するトキが増え、いよいよ恋の季節が訪れます。

➤ 雪とトキ

今期初の積雪がありました。雪の中でもトキたちは、くちばしの感覚を使って、上手にエサをとる様子がみられています。その姿は雪景色にもよく映えます。



▲生殖羽への着色が進む No.190



▲雪の中の No.256 と No.277



▲入念に羽づくろい

➤ 風来坊？のトキ

先月号でご紹介した外海府の No.256（2歳オス）と No.277

（1歳メス）の2羽に混ざって、

No.250（3歳オス）が確認されました。No.250は1羽でしばらく内海府に滞在したのち、佐和田の群れに混ざっていました。今回は外海府で確認され、まるで風来坊のようです。

■本州のトキの動き

➤ 新潟県長岡市に飛来した No.276（第15回放鳥・1歳メス）、山形県鶴岡市に飛来した No.258（第14回放鳥・1歳メス）は、それぞれ12月中も同市内において目撃されています。

■トピック ～求む！繁殖期の目撃情報～



羽色変化が始まり、だんだんとトキの繁殖期に入りつつあります。

特に、繁殖期（2月～6月）における目撃情報は大変貴重です。

「巣材にする枝や草を運んでいる」

「林によく出入りしている」

などのトキの行動を見かけたら、ぜひ情報をお寄せください。



電話 ☎0120-980-551

インターネット トキ目撃情報

検索

PC・スマホ



携帯



■生息範囲ごとの個体内訳（12月22日時点） ～島内に209羽程度、本州に3羽～

生息範囲	羽数	オス	メス	性別不明 (野生生まれ)
新穂・両津・ 金井地区	120羽	08 23 50 67 85 87 91 92 98 106 107 110 135 136 143 161 169 170 172 174 177 179 187 176 204 205 207 209 212 213 214 216 221 233 241 242 245 248 249 251 252 254 255 257 243 260 263 267 A09 A16 A18 A19 A32 A34 A38 A43 A48 A50 A55 A59 A60	25 26 93 95 97 114 120 148 149 127 154 156 157 163 181 182 183 184 190 192 199 200 201 202 203 217 218 219 220 223 224 230 232 237 239 240 259 262 264 265 266 268 272 273 274 275 A03 A04 A10 A21 A23 A33 A45 A47 A51 A54 A58 A61 A62	31羽
真野・畑野・佐 和田・相川地区	39羽	33 68 72 74 81 138 206 244 250 253 256 A02 A13 A22 A25 A28 A35 A39 A40 A46 A53 A57	38 66 78 96 227 234 270 277 A01 A11 A14 A26 A36 A37 A44 A49 A56	
羽茂・赤泊地区	14羽	11 48 84 86 90 211 238 246 A42	69 79 134 180 A24	
本州	2羽		258 276	
居場所不明	6羽	186 247 261	03 04 271	
計	212羽	95羽	86羽	31羽

※No.215, A27 が行方不明扱いになりました。

※太字は幼鳥。地区別の羽数に性別不明の個体は含まれていません。

■トキに関するニュース

※鳥インフルエンザが県内を含む国内複数箇所で発生しているため、対策を強化しています。

12月12日 第12回トキ野生復帰検討会が新潟市で開催され、次の繁殖期への対応などが話し合われました。

12月13日 日中韓トキ国際会議が新潟市の朱鷺メッセで開催されました。

佐渡とき保護会の土屋正起氏から野生トキのモニタリングについて発表いただいたほか、トキの保護が進む中国の現状、放鳥を目指す韓国の取組などが紹介され、貴重な国際交流の場となりました。

12月23日 相川地区で開かれた子供向けのクリスマス会で、新潟大学からトキについてのお話があり、子供たちが興味深く聞いていました。

12月26日 人・トキの共生の島づくり協議会 観光・普及啓発部会がトキのむら元気館で開催されました。トキ観察・展望施設の設計案についてなど、野生トキをどのように見ていただくか、広い視点から意見交換が行われました。



▲日中韓トキ国際会議



▲クリスマス会

■ひとりごと（編集後記）

佐渡に雪が降った際、雪空に舞うトキの姿に見入ってしまいました。この美しさを、先人は「朱鷺色」と表現したのでしょうか。あっという間に年が明けて、あっという間に繁殖期に入ってしまうそうですが、今年はどんなヒナに会えるのか楽しみです。本年もトキ野生復帰を進められるよう、頑張ってもらいますので、どうぞよろしくお願いいたします。

発行者：環境省佐渡自然保護官事務所（0259-22-3372）



厳冬の寒さが身にしみる季節となりました。積雪もある中、トキたちは凍っていないエサ場をうまく利用しているようです。2羽で行動する姿が観察されるようになり、ペアで互いに羽づくろいをするなどラブラブなご様子。いよいよ始まる繁殖期に向けて愛を育んでほしいですね♪



暖くなるまで、ひと休み▲

■佐渡島内のトキの動き（2017年1月）

➤ 第15回放鳥トキ、3ヶ月ぶりに確認

昨年9月の放鳥以来、居場所がわからなかった No.261（オス）が真野地区で確認されました。島内の群れに混ざらず、単独で行動していたようです。



➤ 内海府のトキ

これまであまりトキが確認されていない内海府で、No.264（メス）が確認されています。トキには珍しく、電柱にとまる姿も。1羽で気ままに暮らしているようです。



電柱にとまる No.264▲

◀ 3ヶ月ぶりに確認された No.261

➤ 愛を育むトキたち

続々と繁殖行動が確認されています。たとえば…

「擬交尾」：オスがメスの上に乗り交尾のマネをすることで、絆を強めます。

「枝渡し」：気になる相手に枝をくわえて渡します。まるで指輪を渡すプロポーズのようです。



くちばしを交差させて仲良しなペア（左の2羽）▲

■本州のトキの動き

➤ No.276（第15回放鳥・メス）

新潟県長岡市において、水田でエサを食べる様子などが、継続して確認されています。

➤ No.258（第14回放鳥・メス）

山形県鶴岡市において、川沿いでエサを探していたとの目撃情報がありました。

■トピック ～いつか王子様が？～



鳥は、一般的にメスが相手を探して、広い範囲を移動する傾向があります。トキも本州に飛来するのは、ほとんどメス。トキの女子たちは「いつか王子様が」と待っているわけではなさそうです。

先日までトキの少ない外海府で、No.256（オス）と一緒に過ごしていた No.277（メス）が新穂地区で確認されました。No.256 と離れて、理想の王子様を探しているのでしょうか。

◀ 新穂地区で確認された No.277

■生息範囲ごとの個体内訳（1月27日時点） ～島内に201羽程度、本州に3羽～

生息範囲	羽数	オス	メス	性別不明 (野生生まれ)
新穂・両津・ 金井地区	115羽	08 23 50 67 85 87 91 92 98 106 107 110 135 136 143 161 169 170 172 174 177 179 187 176 204 205 207 209 212 213 214 216 221 233 241 242 248 249 251 252 253 254 255 257 260 263 267 A16 A18 A19 A22 A32 A34 A43 A48 A50 A55 A57 A59 A60	25 26 93 95 97 114 120 148 149 154 156 157 163 181 182 183 184 190 192 199 200 202 203 217 218 219 220 224 230 232 237 240 259 262 264 265 266 268 270 272 273 274 275 277 A04 A23 A26 A33 A45 A47 A54 A56 A58 A61 A62	24羽
真野・畑野・佐 和田・相川地区	41羽	33 68 72 74 81 138 206 244 250 256 261 A02 A09 A13 A25 A28 A35 A38 A39 A40 A46 A53	38 66 78 96 127 201 223 227 234 239 A01 A03 A10 A11 A14 A21 A36 A37 A44	
羽茂・赤泊地区	14羽	11 48 84 86 90 211 238 246 A42	69 79 134 180 A24	
本州	2羽		258 276	
居場所不明	8羽	245 247 243	03 04 271 A49 A51	
計	204羽	94羽	86羽	24羽

※No.186 が行方不明扱いになりました。

※太字は若鳥。地区別の羽数に性別不明の個体は含まれていません。

■トキに関するニュース

※鳥インフルエンザが県内を含む国内複数箇所が発生しているため、対策を強化しています。

1月9日 両津地区野浦集落の野浦大神宮で、朱鷺祈願祭が開催されました。

1月20日 飼育トキ No.98（12歳メス）が死亡しました。内臓の機能不全が原因と考えられます。

1月30日 トキガイド養成講座で、トキ野生復帰の現状についてお話ししました。約50名の参加があり、熱心に講座を聴いていただきました。グループワークでは、活発な意見交換が行われ、トキへの理解を深めました。



■2月の会議・イベントのお知らせ

2月12日 金井地区の大和集落でトキとの共生座談会が開催されます。

▲トキガイド養成講座

■ひとりごと（編集後記）

前回写真ではご紹介できなかった「雪空に舞うトキ」。決して派手ではないけれど、鮮やかな朱鷺色に心を奪われます。島内では、仲むつまじいペアの様子がよく観察されるようになり、ほほえましい限りです。あまりにも仲が良くて、見ているこちらが恥ずかしいくらい。これからたくさん愛を深めて、嬉しいニュースの多い繁殖期になってほしいものです。



発行者：環境省佐渡自然保護官事務所（0259-22-3372）

トキのみかた

- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光をださないようにしましょう。
- ⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。



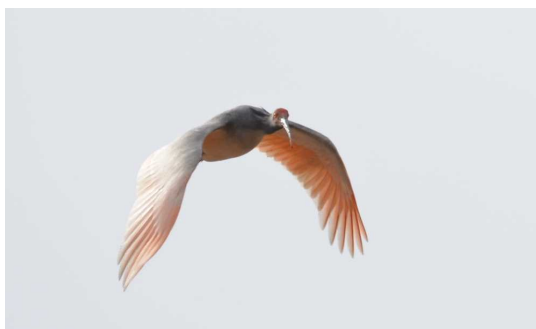
雪が解け、少しずつ春の訪れを感じる今日この頃。いよいよ繁殖期が到来し、トキたちは順調に愛を深めているようです。今年の繁殖もうまくいくように、温かく見守っていきたいものです。

■佐渡島内のトキの動き（2017年2月）

- 本格的に繁殖期が開始
島内各地で「枝渡し」や「擬交尾」などの求愛行動が頻繁に確認されています。また、昨年使用した巣のまわりを出入りする様子などが観察されています。
- 初の「巣材運び」を確認
2/22には今期初となる「巣材運び」が確認されました。「巣材運び」は巣の材料となる枝を運ぶ行動で、いよいよ巣造りが始まっていることがわかります。
- 目撃情報提供のお願い
繁殖期における目撃情報は大変貴重です。巣材となる枝を運んでいる様子や、特定の林に出入りする様子などを見かけましたら、「TEL:0120-980-551（トキ目撃情報フリーダイヤル）」にご一報をお願いします。



枝渡しをする No.120、No.204▲



飛翔する1羽▲

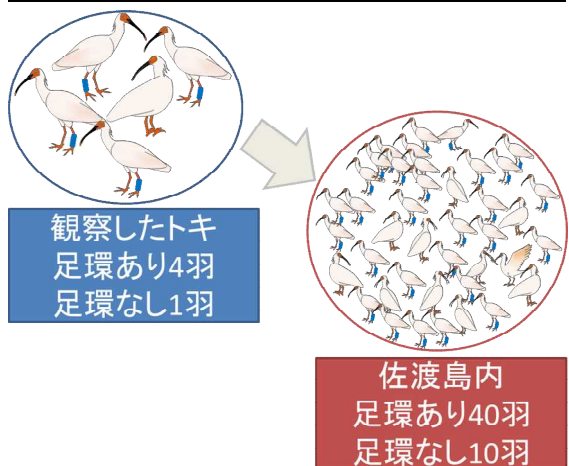


着地する瞬間の No.217▲

■本州のトキの動き

- No.276（第15回放鳥・メス）
新潟県長岡市において、水田でエサを食べる様子などが、継続して確認されています。
- No.258（第14回放鳥・メス）
新潟県上越市への飛来が確認されました。（1月までは山形県鶴岡市で確認されていた個体です。）

■トピック ～足環のないトキの数え方～



これまでに佐渡島の野生下で巣立ったトキのうち42羽には足環がついていません。この足環のない全てのトキを同時に数えることは難しいため、「標識再観察法」によって個体数を推定しています。

たとえば、足環のあるトキが4回観察され、足環のないトキが1回しか観察されなければ、足環のないトキは足環のあるトキの4分の1しかいないはずです。佐渡島内に足環のあるトキが40羽いる場合、足環のないトキは10羽となります。こうした計算によって、現在佐渡島で生息している足環のないトキは24羽と推定されています。

■生息範囲ごとの個体内訳（2月22日時点） ～島内に201羽程度、本州に3羽～

生息範囲	羽数	オス	メス	性別不明 (野生生まれ)
新穂・両津・ 金井地区	111羽	08 23 50 67 85 87 91 92 98 106 107 110 135 136 143 161 169 170 172 174 177 179 187 176 204 205 207 209 212 213 214 221 233 241 242 244 248 249 251 252 253 254 255 257 260 263 267 A16 A18 A19 A32 A34 A38 A43 A50 A55 A57 A59 A60	25 26 93 95 97 114 120 148 149 154 156 157 163 181 182 183 184 190 192 199 200 202 203 218 219 220 224 230 232 237 259 264 265 266 268 270 272 273 274 275 277 A03 A23 A26 A33 A45 A47 A54 A56 A58 A61 A62	24羽
真野・畑野・佐 和田・相川地区	43羽	33 68 72 74 81 138 206 216 250 256 261 A02 A09 A13 A22 A25 A28 A35 A39 A40 A46 A48 A53	38 66 78 96 127 201 217 223 227 234 239 A01 A04 A10 A11 A14 A21 A36 A37 A44	
羽茂・赤泊地区	14羽	11 48 84 86 90 211 238 246 A42	69 79 134 180 A24	
本州	2羽		258 276	
居場所不明	10羽	245 247 243	03 04 240 262 271 A49 A51	
計	204羽	94羽	86羽	24羽

※太字は若鳥。地区別の羽数に性別不明の個体は含まれていません。

■トキに関するニュース

2月8日、10日 新潟大学主催の「トキとの共生を考える
談義」が真野地区・羽茂地区でそれぞれ開催
され、幅広い意見交換の場となりました。

2月12日 金井地区の大和集落で「トキとの共生座談会」
が開催されました。トキの飼育・繁殖状況や
野生下トキの近況などをお知らせし、活発な
意見交換が行われました。



トキとの共生座談会（大和集落）▲

■3月の会議・イベントのお知らせ

3月3日 第16回放鳥に向けた野生復帰ステーション順化ケージでの訓練を開始します。

3月4日 市民生きもの講習会【「あぜ道」から考える生きものの世界と地域づくり】が14時から金
井コミュニティセンターで開催されます。お問合せ・お申込は佐渡生きもの語り研究所
(Tel : 0259-22-2658) まで。

3月5日 「第2回朱鷺と暮らす郷づくり推進フォーラム」が13時から畑野農村環境改善センター
で開催されます。

3月23日 「人・トキの共生の島づくり協議会」が開催されます。

■ひとりごと（編集後記）

いよいよ繁殖期の到来です。「ターア」という特徴的な声がよく聞かれるよう
になり、トキたちも盛り上がっています。私も気を引き締めて頑張ります。

トキかと思ったら、珍しいハクガンが飛来していました▶



トキのみがた

- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光をださないようにしましょう。
- ⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。



ウグイスのさえずりが聞こえるようになり、春らしい陽気となってきました。今期も野生下のトキで営巣・抱卵が確認され、順調に繁殖が進んでいる様子です。

■佐渡島内のトキの動き（2017年3月）

➤ 今期初の営巣・抱卵を確認

営巣・抱卵ともに今期1番乗りだったのはNo.172/足環なしのペアです。オスが頻繁に枝を運んで、巣が完成したところに、メスが座り込む様子が確認されました。メスは野生下生まれでもあり、今後が注目されます。

➤ 「純野生トキ」に期待

3/25に野生下生まれ同士のペアで、抱卵が確認されました。昨年に続き「純野生トキ」が誕生するか注意深く見守っていきます。

➤ 営巣状況等

3/31時点で27組のペアで営巣が確認され、そのうち25組のペアでは抱卵が確認されています。

■本州のトキの動き

➤ No.276（第15回放鳥・メス）

新潟県長岡市において、継続して確認されていましたが、姿が見られない日もあるようです。

➤ No.258（第14回放鳥・メス）

2月に新潟県上越市への飛来が確認されましたが、3月中の確認はありませんでした。



巣材の枝を運ぶ No.A19▲



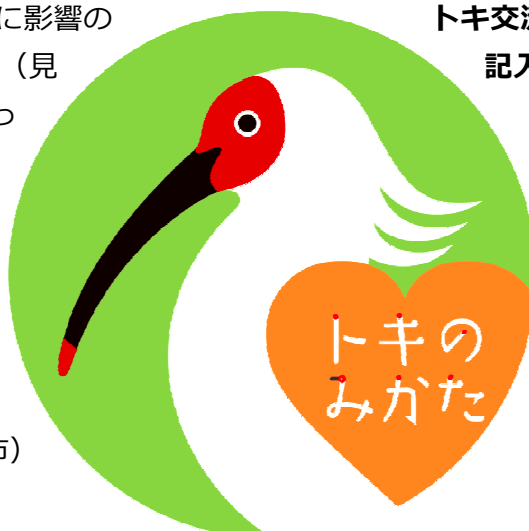
営巣する No.172/足環なしのペア▲



刈田でエサを探す No.A24▲

■トピック ～「トキのみかた」マグネットステッカーできました！～

佐渡で進められてきたトキに影響のない観察方法「トキのみかた（見方）」を、より多くの方に知っていただきたい！そして、トキの野生復帰を応援する「トキのみかた（味方）」になっていただきたい！という思いから、「トキのみかた」マグネットステッカーを作成しました。（協力：新潟県・佐渡市）



トキ交流会館にて、チェックシートにご記入いただいた方に配布しています

（数量限定）。ぜひ、車両などに貼って「トキのみかた」のPRをお願いします！



■生息範囲ごとの個体内訳（3月29日時点） ～島内に199羽程度、本州に2羽～

生息範囲	羽数	オス	メス	性別不明 (野生生まれ)
新穂・両津・ 金井地区	104羽	08 23 50 67 85 87 91 92 98 106 107 110 135 136 143 161 169 170 172 174 177 179 187 176 204 205 207 209 212 213 214 221 233 241 242 244 248 249 251 252 253 254 255 256 257 260 263 267 A16 A18 A19 A34 A38 A43 A48 A50 A55 A57 A59 A60	25 26 93 95 97 114 120 148 149 154 156 157 163 181 182 183 184 190 192 199 200 203 217 218 220 224 230 232 234 237 259 265 266 268 273 275 277 A26 A33 A36 A47 A54 A58 A62	24羽
真野・畑野・佐 和田・相川地区	43羽	33 68 72 74 81 138 206 216 250 261 A02 A09 A13 A22 A25 A28 A32 A35 A39 A40 A53	38 66 78 96 127 201 202 223 227 239 264 270 A01 A03 A10 A11 A14 A21 A23 A37 A44 A45	
羽茂・赤泊地区	14羽	11 48 84 86 90 211 238 246 A42	69 79 134 180 240 272 274 A04 A24	
本州	2羽		258 276	
居場所不明	10羽	245 247 243 A46	219 262 A49 A51 A56 A61	
計	201羽	94羽	83羽	24羽

※No.03,04,271 が行方不明扱いになりました。
※太字は若鳥。地区別の羽数に性別不明の個体は含まれていません。

■トキに関するニュース

- 3月3日 第16回放鳥に向けた順化訓練が開始されました。
同日 野生復帰ステーション繁殖ケージにて、今期初の産卵が確認されました。
3月5日 「朱鷺と暮らす郷づくり推進フォーラム」が開催されました。
3月23日 「人・トキの共生の島づくり協議会」が開催されました。



順化訓練開始▲

■佐渡自然保護官事務所からのお知らせ

4月の人事異動で当所の首席自然保護官が交代し、広野の後任として若松が着任しました。
～広野より一言～

2013年の6月の着任以来、皆様から様々なご支援、ご指導をいただきましたこと心から御礼申し上げます。おかげさまでトキは、少しずつ目指す自然な状態に近づいていっています。今後より多くの方々にトキのことを知っていただき、トキ野生復帰を応援いただけるよう、さらに取組を進めてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。有り難うございました。



人・トキの共生の島づくり協議会▲

■ひとりごと（編集後記）

朱鷺と暮らす郷づくり推進フォーラムで、認証米に取り組む農家の方が「自分の水田にトキが来たことに、経済価値以上の価値を見いだした」とおっしゃっていました。その一言が、佐渡で進められてきたトキ野生復帰の多くを物語っているように思えました。トキの存在が人と自然を結ぶ架け橋となるように、今後も見守っていきたいです。

発行者：環境省佐渡自然保護官事務所（0259-22-3372）

トキのみかた

- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光をださないようにしましょう。
- ⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。



佐渡に花の季節がやってきました。野生下では今期もトキのヒナが誕生しました。2012年から6年連続のヒナ誕生です！今期は営巣を中止するペアが少なく、ベビーラッシュが期待されます。

■佐渡島内のトキの動き（2017年4月）

- ヒナ生まれました！
4/14に今期初となるヒナの誕生が確認されました。営巣が早かったNo.172/足環なしのペアで、ヒナにエサをあげる様子が観察されています。
4/23には昨年に続き、野生下生まれ同士のペアから「純野生トキ」のヒナ誕生が確認されました。
- 営巣状況等
4/28時点で13組のペアからヒナが誕生しています。全体では53組のペアが営巣中で、うち34組は抱卵中です。
- 放鳥トキNo.169（6歳オス）が、側溝で弱った状態で見つかり、保護しましたが、その後死亡しました。溺死の可能性が考えられます。



3羽のヒナが確認されたNo.81/No.66ペア ▲



「純野生トキ」のヒナ▲

■本州のトキの動き

- 野生トキが相次いで本州に
No.A45が4/13に、No.A33が4/23に新潟県新潟市に飛来したことが確認されました。2羽とも、昨年野生下で誕生したメスのトキで、いずれも翌日には佐渡で確認されています。
若者にとっては、本州も“ひとつ飛び”なのかもしれません。
- No.276（第15回放鳥・メス）
一度佐渡で確認されましたが、その後、新潟県長岡市に戻ったことが確認されています。
- おかえりNo.258（第14回放鳥・メス）
山形県鶴岡市や新潟県上越市への飛来が確認されていましたが4/8以降は佐渡で確認されています。



小川龍司さん撮影

新潟市で確認されたNo.A33▲

■トピック ～アクティブ・レンジャーとは？～

アクティブ・レンジャー【英】Active Ranger（和製英語）：
自然保護官（レンジャー）の補佐役。佐渡自然保護官事務所では2名のアクティブ・レンジャーが活動しており、地域の関係者と共に野生トキのモニタリング（追跡調査）を行いながら、学校等での講演・パンフレットやインターネットによる情報発信も行っています。トキ野生復帰の取組を地域に還元することで、人とトキが共生する社会の実現をお手伝いしています。



野生トキのモニタリングをする
アクティブ・レンジャー▲

■生息範囲ごとの個体内訳（4月25日時点） ～島内に198羽程度、本州に1羽～

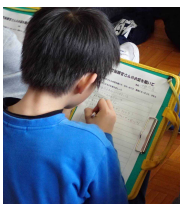
生息範囲	羽数	オス	メス	性別不明 (野生生まれ)
新穂・両津・ 金井地区	108羽	08 23 50 67 85 87 91 92 98 106 107 110 135 136 143 161 170 172 174 177 179 187 176 204 205 207 209 212 213 214 221 233 241 242 248 249 251 252 253 254 255 257 260 263 267 A16 A18 A19 A34 A38 A40 A43 A48 A50 A53 A55 A57 A59 A60	25 26 93 95 97 114 120 148 149 154 156 157 163 181 182 183 184 190 192 199 200 203 217 218 220 224 230 232 234 237 258 259 264 265 266 268 274 275 A03 A10 A26 A33 A36 A37 A45 A54 A58 A61 A62	24羽
真野・畑野・佐 和田・相川地区	40羽	33 68 72 74 81 138 206 216 244 250 256 261 A02 A09 A13 A22 A25 A28 A32 A35 A39	38 66 78 96 127 201 202 223 227 239 270 277 A01 A11 A14 A21 A23 A44 A47	
羽茂・赤泊地区	17羽	11 48 84 86 90 211 238 246 A42	69 79 134 240 272 273 A04 A24	
本州	1羽		276	
居場所不明	9羽	245 243 A46	180 219 262 A49 A51 A56	
計	199羽	92羽	83羽	24羽

※No.247が行方不明扱いになりました。

※太字は若鳥。地区別の羽数に性別不明の個体は含まれていません。

■トキに関するニュース

4月20日 トキ学習を行う行谷小学校で、全校児童約70名を対象にトキの講演を行いました。上級生から下級生まで、クイズに答えながら積極的にトキの生態を学びました。学んだことをもとに、トキの森公園でトキ解説を行う予定です。



行谷小学校のトキ学習▲

■佐渡自然保護官事務所からのお知らせ

4月から首席自然保護官として若松徹が着任しました。
～若松より一言～

トキの野生復帰を着実に進め、佐渡ならではの自然下のトキ、トキとの共生を掲げ進めてこられたモデル的な取組みを佐渡の魅力の一つとしてブラッシュアップし、国内外に積極的に発信していければと考えています。トキのため、佐渡のため、精一杯がんばります。みなさま、どうぞ宜しくお願い致します！



『水面に浮かぶサガリバナ落花』
前任地の石垣島北部平久保半島にて

■ひとりごと（編集後記）

野生下でのヒナ誕生も、6年目となり、トキの繁殖があたり前のことになりつつあります。そうなるまでには、多くの方のお力と、長い長い道のりがありました。一度は姿を消した生き物を、身近なところに甦らせる難しさをかみしめながら、かわいいヒナの成長を見守っていきたいと思います。

発行者：環境省 佐渡自然保護官事務所（0259-22-3372）





■今期初！野生下のヒナ巣立ち

5/17に今期初となるヒナの巣立ちが確認されました！2012年以来、6年連続の巣立ちです。

巣立ちが確認されたのは、放鳥トキ No.172 (オス) と野生下で生まれた足環のない個体 (メス) のペアのヒナ4羽のうちの1羽 (No.B05) です。巣から出て、近くの枝にとまる様子が観察されました。このペアは、今期初めて形成されたペアで、4/14にヒナの誕生が確認され、5/9にはヒナ4羽に足環装着を行っていました。



巣立ちしたヒナ (No.B05) ▲

■誕生したヒナ 70 羽！過去最多記録、更新中

5/17時点で、佐渡の野生下で誕生したヒナが70羽となりました。2008年の放鳥開始以来、最多だった昨年の53羽を大きく上回り、過去最多記録を更新中です。まだ抱卵中のペアもいるため、さらなるヒナの誕生が期待されます。



ヒナと2羽の親鳥 No.209/No.A26 ペア ▲



羽づくろいをするヒナと親鳥 No.85/No.93 ペア ▲



足環装着したヒナ (No.B01) ▲

トキの放鳥から10年目を迎え、まさにベビーラッシュとなった佐渡。目まぐるしく変化するトキの繁殖状況をお知らせするため、号外を発行しました。

日々続けられる野生下トキのモニタリング (追跡調査) はもちろん、生きものを育む農法や観察ルールといったトキの生きられる環境づくりなど、佐渡が一体となってトキの野生復帰に取り組んだ成果が、今期の繁殖状況に現れています。

現在、野生下のトキの数は196羽。これから何羽まで増えるのでしょうか。1羽でも多くのヒナが巣立ち、美しい朱鷺色の翼で大空を舞いますように。





鮮やかなカンゾウが咲き、だんだんと夏の陽気になってきました。佐渡は予想をはるかに超えるベビーラッシュ。誕生したヒナは85羽となり、巣立ちも確認されています！

■佐渡島内のトキの動き（2017年5月）

- 5組から9羽が巣立ち！
5/17に今期初となるヒナの巣立ちが確認され、5/26までに5組から9羽のヒナが巣立ちました。巣立ち後もしばらくは、巣と巣の近くの枝を行ったり来たり。親鳥と水田に降りる日が待ち遠しいです。
- 過去最多85羽のヒナ誕生
5/26時点で計85羽のヒナが誕生しています。全体では37組のペアが営巢中で、うち28組で育雛、8組で抱卵が確認されています。今期野生下で誕生したヒナのうち、計33羽に足環を装着しました。
- 田植えシーズン到来
島内各地で田植えが行われました。^{おくびょう}臆病といわれるトキですが、農作業をしているすぐそばに降り立つ光景も。トキとの距離感、佐渡で育まれた人と自然が共生する姿です。



巣立ちしたヒナ No.B11※右 (No.A19/220 ペア) ▲



農作業のそばで採餌するトキ No.161▲

■本州のトキの動き

- No.276（第15回放鳥・メス）
5月に新潟県上越市で確認されています（これまで長岡市に滞在していたトキです）。

■トピック ～ヒナへの足環装着～

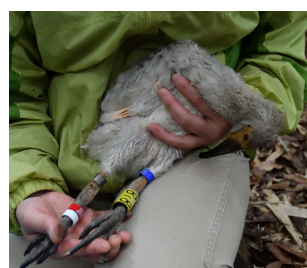
個体を見分けるため、野生下で誕生したヒナの一部に、放鳥トキと同じく足環を装着しています。その作業は一苦労。15m以上ある木の巣まで登り、ヒナを一時捕獲します。ヒナは地上に降ろされ、獣医師らによって計測や足環装著作業を行い、巣に戻されます。巣にいた親鳥は、作業後、数分から数時間でヒナのいる巣に戻ることが確認されており、繁殖への影響がないように行われています。



巣に登る作業者



計測



足環装着



巣に戻されたヒナ3羽

■生息範囲ごとの個体内訳（5月24日時点） ～島内に195羽程度、本州に1羽～

生息範囲	羽数	オス	メス	性別不明 (野生生まれ)
新穂・両津・ 金井地区	107羽	08 23 50 67 85 87 91 92 98 106 107 110 135 136 143 161 170 172 174 177 179 187 176 204 205 207 209 212 213 214 221 233 241 242 244 248 249 251 252 253 254 255 256 257 260 263 267 A18 A19 A32 A34 A35 A38 A39 A43 A48 A50 A55 A57 A59	25 26 93 95 97 114 120 148 149 154 156 157 163 181 182 183 184 190 192 199 200 203 217 218 220 224 230 232 234 237 258 259 265 266 268 274 275 277 A26 A33 A36 A37 A45 A54 A58 A61 A62	24羽
真野・畑野・佐 和田・相川地区	39羽	33 68 72 74 81 138 206 216 250 261 A02 A09 A13 A16 A22 A25 A28 A40 A53 A60	38 66 78 96 127 201 223 227 239 270 A01 A03 A10 A11 A14 A21 A23 A44 A47	
羽茂・赤泊地区	18羽	11 48 84 86 90 211 238 246 A42	69 79 134 240 264 272 273 A04 A24	
本州	1羽		276	
居場所不明	7羽	A46	180 202 219 262 A51 A56	
計	196羽	90羽	82羽	24羽

※No.245,243,A49が行方不明扱いになりました。

※太字は若鳥。地区別の羽数に性別不明の個体は含まれていません。2017年生まれの幼鳥は含まれていません。

■トキに関するニュース

- 5月10日 長岡市トキ分散飼育センターから佐渡トキ保護センターへ4羽のトキが移送されました。
- 5月13日 トキ認証米の10作目を記念した「田んぼアート」の田植えが行われました。
- 5月18日 日本自然環境専門学校の学生約60名が見学を訪れ、順化訓練の様子などを観察しました。
- 5月25日 金井小学校の4年生約60名に、総合学習としてトキの授業を行いました。
- 5月30日 東京大学の大学院生約20名が見学を訪れ、トキ野生復帰への理解を深めました。



田んぼアート▲



金井小学校のトキ学習▲

■6月の会議・イベントのお知らせ

- 6月2日 第16回トキ放鳥を行います。放鳥の様子は野生復帰ステーション観察棟などからご覧いただけます。
- 6月6日 シンポジウム「自然共生社会をめざして」が13時からあいぽーと佐渡で開催されます。
- 6月27日 「人・トキの共生の島づくり協議会」が10時からトキ交流会館で開催されます。
- 6月下旬 第17回トキ放鳥に向けた順化訓練を開始する予定です。

発行者：環境省 佐渡自然保護官事務所（0259-22-3372）

トキのみかた

- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光をださないようにしましょう。
- ⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





ホタルが幻想的に飛び交う季節となりました。今期はトキの繁殖が好調で、ヒナの誕生・巣立ち数ともに過去最多記録を更新中です！

■佐渡島内のトキの動き（2017年6月）

➤ 29組のペアから72羽が巣立ち！

過去最多となる92羽のヒナ誕生と、72羽の巣立ちが確認されています。昨年に続き、野生下生まれ同士のペアから誕生した「純野生トキ」の巣立ちも確認されました。巣立った幼鳥は、親鳥と一緒に水田でエサを探す様子などが観察されています。



飛翔する幼鳥2羽と水田で採餌する親鳥 No.172▲

➤ 第16回放鳥

6/2に第16回放鳥を実施し、オス8羽、メス10羽のトキが、佐渡の大空へとばたきました。新しく放鳥されたトキは、田んぼで採餌する様子などが確認されています。

◀放鳥された No.288



巣立ちしてあぜに降りた幼鳥 No.B10▲

➤ 骨折した幼鳥の保護・死亡（計2羽）

6/8に骨折した幼鳥が保護され、野生復帰ステーションにて治療を行っていましたが、6/21に死亡が確認されました。また、6/28にも骨折した幼鳥を保護しましたが、同日に死亡が確認されました。

■トピック ～幼鳥の見分け方～

この時期、巣立ち間もない幼鳥のすがたを目にすることがあるかもしれません。成鳥と幼鳥の違いは为什么呢。大きな2つの特徴を取り上げます。

- ① 顔の色：成鳥は赤い顔をしています。一方で、幼鳥はオレンジ色の顔をしており、虹彩の色が灰色で、目がクリクリして見えます。
- ② 羽の色：成鳥は鮮やかな「とき色」（淡い桃色）です。幼鳥は「とき色」が薄く、全体的に灰色がかった白です。翼の外側に黒っぽい幼羽が目立ちます。

幼鳥があなたの身近にもいるかもしれません。野外のトキを観察してみてはいかがでしょうか。



成鳥



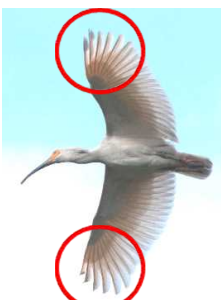
幼鳥



成鳥



幼鳥



幼鳥の黒い幼羽

■生息範囲ごとの個体内訳（6月26日時点） ～島内に211羽程度、本州に1羽～

生息範囲	羽数	オス	メス	性別不明 (野生生まれ)
新穂・両津・ 金井地区	120羽	08 23 50 67 85 87 91 92 98 106 107 110 135 136 143 161 170 172 174 177 179 187 176 204 205 207 209 212 213 214 221 233 241 242 244 248 249 251 252 253 254 255 257 260 263 267 288 289 290 291 292 293 294 295 A16 A18 A19 A34 A38 A40 A43 A48 A50 A55 A57 A59 A60	25 26 93 95 97 114 120 148 149 154 156 157 163 181 182 183 184 190 192 199 200 203 217 218 220 224 230 232 234 237 258 259 266 268 272 274 275 277 278 279 280 281 282 283 285 286 287 A26 A33 A44 A45 A54 A62	24羽
真野・畑野・佐 和田・相川地区	43羽	33 68 72 74 81 138 206 216 250 256 261 A02 A09 A13 A22 A25 A28 A32 A35 A39 A53	38 66 78 96 127 201 223 227 239 265 270 A01 A03 A10 A11 A14 A21 A23 A36 A37 A47 A58	
羽茂・赤泊地区	18羽	11 48 84 86 90 211 238 246 A42	69 79 134 240 264 273 284 A04 A24	
本州	1羽		276	
居場所不明	6羽	A46	180 202 219 A56 A61	
計	212羽	98羽	90羽	24羽

※No.262,A51 が行方不明扱いになりました。

※太字は若鳥。地区別の羽数に性別不明の個体は含まれていません。2017年生まれの幼鳥は含まれていません。

■トキに関するニュース

6月2日～4日 第16回放鳥を実施しました。

6月21日 第17回放鳥に向けた順化訓練を開始しました。19羽（オス14羽、メス5羽）が順化ケージに移され、採餌・飛翔などの訓練を行います。

6月22日 トキ学習に取り組む行谷小学校の全校児童が「水辺の生きもの調べ」を行い、カエルやドジョウなどを興味深く観察しました。

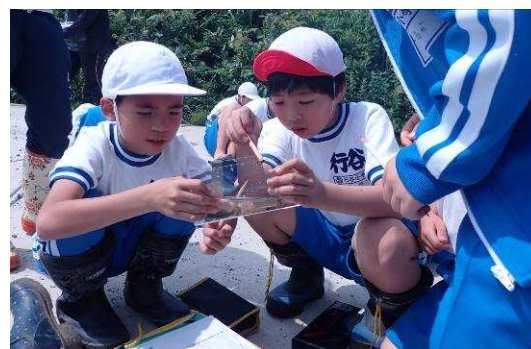
6月25日 「佐渡在来生物を守る会」による外来植物の駆除作業と花の島佐渡のシンポジウムが行われました。

6月27日 「人・トキの共生の島づくり協議会」が開催されました。今回をもって、長年ご尽力いただいた坂田会長が退任され、潟上水辺の会の板垣代表世話人が新会長に選任されました。

6月29日 長野県のグリーン・ヒルズ中学校が野生復帰ステーションを訪れ、トキの飼育繁殖・野生復帰の現状について学習しました。



順化訓練開始▲



行谷小学校の生きもの調べ▲

■7月の会議・イベントのお知らせ

7月2日 「朱鷺と暮らす郷づくり推進フォーラム」が14時半から金井コミュニティセンターで開催されます。

発行者：環境省 佐渡自然保護官事務所（0259-22-3372）

トキのみかた

- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光をださないようにしましょう。
- ⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





田んぼアートが鮮やかに色づき、雄大なトキの絵柄が現れています。認証米の取組などによってもトキの野生復帰が進み、今年の繁殖は大成功。70 羽を超える幼鳥が島内を飛び回っています！

佐渡島内のトキの動き（2017 年 7 月）

➤ 過去最多 77 羽が巣立ち！

7/19 に最後のペアから 3 羽のヒナが巣立ち、今年の繁殖期が終了しました。今期、営巣したペアは 65 組。うち 31 組から、過去最多となる 77 羽のヒナが巣立ちました。

➤ 今年も「純野生トキ」巣立ち

野生下で生まれたトキ同士のペアは 9 組確認され、7 組から 15 羽の「純野生トキ」が巣立っています。

< 繁殖結果 >

	営巣	ふ化		巣立ち	
	ペア数	ペア数	ヒナ数	ペア数	ヒナ数
2012年	18	3	8	3	8
2013年	24	5	14	2	4
2014年	35	14	36	11	31
2015年	38	12	21	8	16
2016年	53	25	53	19	40
2017年	65	36	92	31	77

➤ 野生のトキの数 282 羽に！

今年巣立った幼鳥を含めた野生生まれのトキの数は 142 羽となり、放鳥トキの生存数 140 羽を上回りました。

➤ 幼鳥の死亡

7/18 に巣立ちしたばかりの幼鳥（No.B40）が死体で見つかりました。原因は不明ですが、十分な体力がなく、弱っていたと考えられます。

本州のトキの動き

➤ No.276（第 15 回放鳥・メス）が長野県中野市で確認されました。

トピック ～トキの卵～

トキの卵は 6.7×4.5cm, 69g ほどの大きさ。ニワトリの卵より少し大きいくらいです。青みがかった灰色で、茶褐色の斑紋（まだら模様）

があります。卵の殻からは、無精卵か有精卵かを調べることもできます。生まれた時は、こんなに小さな卵に入っている、1 ヶ月ほどで親鳥と同じ大きさになります。



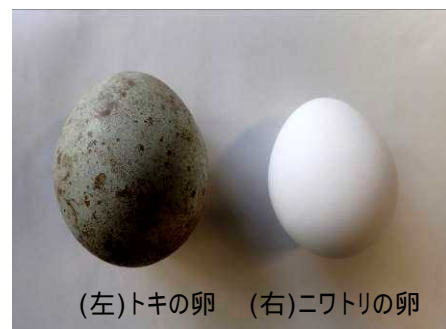
朱鷺と暮らす郷認証米 10 作目記念の田んぼアート



飛翔する今年生まれの幼鳥



エサをねだる幼鳥と親鳥



(左)トキの卵 (右)ニワトリの卵

生息範囲ごとの個体内訳（7月27日時点） ～島内に281羽程度、本州に1羽～

生息範囲	羽数	オス	メス	性別不明 (野生生まれ)
新穂・両津・ 金井地区	127羽	08 23 50 67 85 87 91 92 98 106 107 110 135 136 143 161 170 172 174 177 179 187 176 204 205 207 209 212 213 214 216 221 233 241 242 244 248 249 251 252 253 254 255 256 257 260 263 267 288 289 290 291 292 293 294 295 A16 A18 A19 A38 A39 A40 A43 A48 A50 A55 A57 A59 A60	25 26 78 93 95 97 114 120 148 149 154 156 157 163 181 182 183 184 190 192 199 200 203 217 218 220 223 224 230 232 234 237 258 259 265 266 268 272 274 275 277 278 279 280 281 282 283 285 286 A11 A21 A26 A44 A45 A47 A54 A58 A62	99羽
真野・畑野・佐 和田・相川地区	37羽	33 68 72 74 81 138 206 246 250 261 A02 A09 A13 A22 A25 A28 A32 A34 A35 A53	38 66 96 127 201 227 239 264 287 A01 A03 A10 A14 A23 A33 A36 A37	
羽茂・赤泊地区	16羽	11 48 84 86 90 211 238 A42	69 79 134 240 273 284 A04 A24	
本州	1羽		276	
居場所不明	2羽		180 270	
計	282羽	97羽	86羽	99羽

No. 202,219,A46,A56,A61 が行方不明扱いになりました。
太字は若鳥。地区別の羽数に性別不明の個体は含まれていません。
2017年生まれの幼鳥は 性別不明（野生生まれ）の羽数に含まれています。

トキに関するニュース

- 7月2日 「朱鷺と暮らす郷づくり推進フォーラム」が行われ、お米の消費量を増やす取組などに関する講演がありました。
- 7月20日 長岡市立大河津小学校でトキの授業を行いました。
- 7月28日 佐渡市との交流事業として、長岡市立大河津小学校の4年生と佐渡 Kids 生きもの調査隊が野生復帰ステーションを訪れ、順化訓練中のトキなどを観察しました。



大河津小学校と佐渡 Kids 生きもの調査隊

8月の会議・イベントのお知らせ

- 8月19日 「2017 トキ野生復帰シンポジウム」が13時から金井コミュニティセンターで開催されます。鼓童によるオープニングイベントや女優の大桃美代子氏による講演が予定されています。
- 8月26日 「竹灯りの集い」が両津地区・岩首集落の岩首談義所で開催されます。

ひとりごと（編集後記）

佐渡に来て、早1年。季節ごとに移り変わるトキの姿と、佐渡の風景が心に残ります。多くのヒナが産声を上げ、力強く巣立つようになった佐渡の風景が、次世代へつながってほしいと改めて感じています。

2017 トキ野生復帰シンポジウム

田からもの（宝物）未来会議

— 次の10年を子供たちと一緒に考えませんか —

【内容】

- オープニングイベント「鼓童」
- 基調講演
- 記念講演
- 田からもの（宝物）未来会議提言
(長岡市・長岡市・出雲市・石川県・佐渡市の生徒・児童が参加)
- パネルディスカッション

※先着200名様にオリジナルトキグッズプレゼント

講演者



長岡市長
中貝 宗治



ニュースキャスター・女優
大桃 美代子



トキ自然復帰研究センター・総務研究員
佐渡自然環境事務所・主任研究員
渡邊 網男

「未来をつくるのは人間だけじゃない。多様な生き物の里を目指して」

18時 8月19日(土)
平成29年 13:00～17:30

入場 無料

【場所】金井コミュニティセンター 佐渡市千種 240

【主催】佐渡市 【共催】環境省・新潟県 【問合せ】トキ交流館 024-6040

写真が動くよ！

①「見ておけさAR」アプリを下のQRコードを読み込んでダウンロード。②「見ておけさAR」を起動。③スマホをトキの写真にかざすとスクリーン開始。④iPhone、iPadはここから。⑤Androidはここから。※撮影されているAndroid OSのバージョンアップが必要。

発行者：環境省 佐渡自然保護官事務所（0259-22-3372）

トキのみかた

トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
大きな音や光をださないようにしましょう。
繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





涼しい日も多くなりましたが、セミの声が残暑を感じさせます。繁殖期を終えたトキたちは、数十羽の群れとなり、島内を飛び回る様子が確認されています。

佐渡島内のトキの動き（2017 年 8 月）

➤ 群れ形成

繁殖期中はペアで行動していたトキですが、秋になると、群れで行動するようになります。島内では、20 羽程で同じエサ場に降りたり、約 70 羽が 1 つのねぐらを利用したりと集団で行動の様子が観察されています。

➤ 生きものを育む「緑のあぜ」

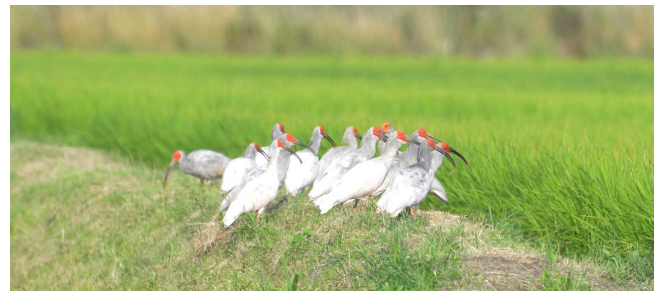
佐渡のあぜは「緑のあぜ」ともいわれ、人の手による草刈りで維持されています。稲丈が伸びて、田んぼに入りづらくなる夏場、トキはあぜでミミズやバッタなどを食べることで多くなります。「緑のあぜ」が多様な生きものを育てている証拠です。

➤ ただいま換羽中！

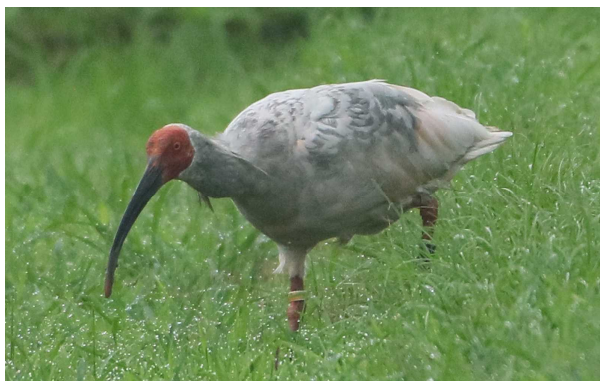
8 月 10 月は 1 年に一度の換羽の季節です。徐々に黒かった生殖羽が抜け、白い羽が生えてくるので、まだら模様になっているトキも見られます。



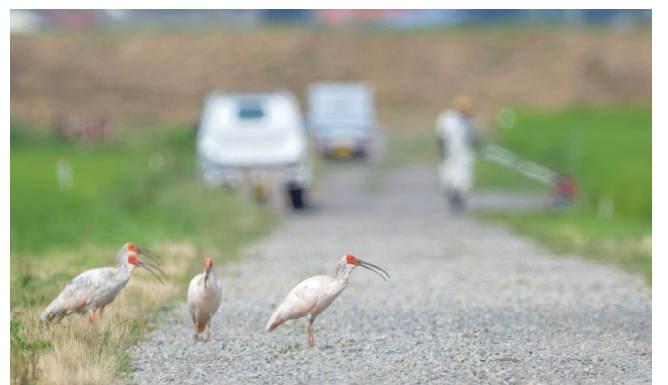
集団でとまる 9 羽のトキ



あぜで採餌する 13 羽のトキ



換羽中の No.84



暑い中草刈りをする農家さんとトキ 4 羽

トピック ～2017 トキ野生復帰シンポジウム・田からもの（宝物）未来会議【開催報告】～

トキの放鳥 10 年目を記念して、シンポジウムが開催されました。当日は約 300 名の市民にご参加いただき、豊岡市の中貝市長、IUCN 日本委員会の渡邊会長、女優の大桃美代子さんによるコウノトリやお米作りに関する講演をお聞きいただきました。未来会議では、豊岡市・長岡市・出雲市等の子どもが田んぼ体験などを通してトキへの理解を深め、さらに、石川県・佐渡市の高校生による農業・地域づくりに対する未来提言が行われるなど、これからのトキ野生復帰を進める契機となりました。



佐渡総合高校による発表

生息範囲ごとの個体内訳（8月28日時点） ～島内に280羽程度、本州に1羽～

生息範囲	羽数	オス	メス	性別不明 (野生生まれ)
新穂・両津・金井地区	148羽	08 23 50 67 85 87 91 92 98 106 107 110 135 136 143 161 170 172 174 177 179 187 176 204 205 207 209 212 213 214 216 221 233 241 242 244 248 249 251 252 253 254 255 256 257 260 263 267 288 289 293 295 A02 A16 A18 A19 A22 A32 A34 A38 A39 A40 A43 A48 A50 A53 A55 A57 A59 A60 B02 B03 B06 B07 B12 B21 B30 B35 B38	25 26 93 95 97 114 120 148 149 154 156 157 163 181 182 183 184 190 192 199 200 203 217 218 220 224 230 232 234 237 240 258 259 265 266 268 272 274 275 277 278 280 285 A01 A10 A11 A21 A24 A26 A33 A44 A45 A54 A58 A62 B01 B05 B11 B18 B19 B20 B22 B23 B24 B25 B26 B34 B37 B39	63羽
真野・畑野・佐和田・相川地区	39羽	33 68 72 74 81 138 206 250 261 A09 A13 A25 A28 A35 B14 B15 B16 B36	38 66 78 96 127 201 223 227 239 264 287 A03 A04 A14 A23 A36 A37 A47 B08 B10 B17	
羽茂・赤泊地区	21羽	11 48 84 86 90 211 238 246 290 291 294 A42 B31 B33	69 79 134 273 284 B29 B32	
本州	1羽		276	
居場所不明	9羽	292	270 279 281 282 283 286 B13 B27	
計	281羽	112羽	106羽	63羽

No.180 が行方不明扱いになりました。

太字は今年生まれた幼鳥。地区別の羽数に性別不明の個体は含まれていません。

A・Bから始まる番号は野生下で生まれた個体を示しています。

トキに関するニュース

8月19日 「2017 トキ野生復帰シンポジウム」が開催されました。

8月22日 「トキの水辺づくり協議会」設立総会が開催され、天王川流域を中心としたトキの生息環境整備等を進めることが確認されました。

8月24日 新潟県の米山知事が野生復帰ステーションを視察しました。

同日 東京工科大学の学生約30名が野生復帰ステーションを訪れ、トキに関する取り組みを学びました。

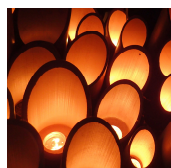


8月26日 佐渡在来生物を守る会が東京工科大学の見学学生ボランティアとともに、外来魚ブラックバス等の駆除作業を行いました。

同日 里山の環境整備等を行う学生が参加し、岩首竹灯りの集いが開催されました。



米山知事の視察



9月の会議・イベントのお知らせ

9月中旬 第11回トキ飼育繁殖小委員会を開催します。

9月下旬 第17回トキ放鳥を予定しています。

発行者：環境省 佐渡自然保護官事務所（0259-22-3372）

トキのみかた

トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
大きな音や光をださないようにしましょう。
繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





稲刈りの季節がやってきました。稲刈り後の刈田に集合するトキが島内のいたるところで見られます。生きもの豊かな佐渡の田んぼが、私たちにも、トキにも、おいしい恵みを与えてくれています（新米が待ち遠しいです）。

佐渡島内のトキの動き（2017 年 9 月）

➤ 過去最速！第 17 回放鳥

9/22 に第 17 回放鳥が行われました。放鳥は順化ケージの扉を開け、トキが自分から飛んでいくのを待つソフトリリース方式で行っているため、トキがいつ飛翔するかソワソワしながら見守るのですが、なんと今回は過去最速！6 時に扉を開けてから、10:28 までに全 19 羽（オス 14 羽、メス 5 羽）のトキが自然界に飛び立っていきました。

➤ 過去最多！85 羽がねぐら出

佐渡のトキは 300 羽目前まで増えてきています。秋になるとねぐらにまとまってくるのですが、新穂地区では 1 か所から 85 羽がねぐら出するところの確認されました。

➤ 羽茂の幼鳥が新穂に

羽茂地区で今年巣立った幼鳥（No.B30,B32）が新穂地区で確認されました。巣立ちから数か月で立派に島内を飛び回っているようです。

➤ 幼鳥の死亡

足環のない幼鳥が 9/15 に両脚を骨折した状態で保護されましたが、翌日死亡しました。今年生まれた幼鳥の死亡は 4 例目です。



稲穂の上を飛翔するトキ No.211



「とき色」の羽が鮮やかな 2 羽の飛翔



刈田の 3 羽（No.A44,A58,足環なし）



本州のトキの動き

刈田でエサを探す 21 羽

➤ No.276（第 15 回放鳥・メス）が新潟県上越市、妙高市で確認されました。

トピック ～トキの放鳥～



順化ケージで飛翔や採餌などの訓練を行ったトキが、自然界へ初めて飛び立つのが放鳥。その自然界への飛び立ちがスムーズになるよう、数週間前からはネット越しに扉の開閉を行い、音や動きに慣らしたり、当日は扉のレールが見えないように麻袋で隠したり、様々な工夫が凝らされています。その甲斐あってか、今回は過去最速の放鳥となりました。来年は放鳥 10 周年を迎えます。どんな放鳥になるのでしょうか。

第 17 回放鳥 No.301

生息範囲ごとの個体内訳（9月23日時点） ～島内に298羽程度、本州に1羽～

生息範囲	羽数	オス	メス	性別不明 (野生生まれ)
新穂・両津・ 金井地区	168羽	08 23 50 67 85 87 91 92 98 106 107 110 135 136 143 161 170 172 174 177 179 187 176 204 205 207 211 212 213 214 221 233 241 242 244 248 249 251 252 253 254 255 256 257 260 263 267 288 289 293 295 296 297 298 299 300 301 303 304 305 306 307 308 309 310 A02 A18 A19 A25 A32 A34 A39 A40 A43 A48 A50 A53 A55 A57 A59 A60 B02 B03 B06 B07 B12 B14 B15 B21 B30 B35 B36 B38	25 26 66 93 95 97 114 120 148 149 154 156 157 163 181 182 183 184 190 192 199 200 201 203 217 218 220 224 230 232 234 237 258 259 265 266 268 272 274 275 277 278 280 285 302 311 312 313 314 A11 A21 A26 A33 A45 A54 A62 B01 B05 B08 B10 B11 B13 B17 B18 B19 B20 B22 B23 B24 B25 B26 B32 B34 B37 B39	62羽
真野・畑野・佐 和田・相川地区	36羽	33 68 72 74 138 206 216 250 261 A09 A16 A22 A28 A35 B16	38 78 96 127 223 227 239 240 264 287 A01 A03 A04 A10 A14 A23 A36 A37 A44 A47 A58	
羽茂・赤泊地区	20羽	11 48 84 86 90 238 246 290 291 294 A42 B31 B33	69 79 134 273 284 A24 B29	
本州	1羽		276	
居場所不明	12羽	81 209 292 A13 A38	270 279 281 282 283 286 B27	
計	299羽	126羽	111羽	62羽

太字は今年生まれた幼鳥。地区別の羽数に性別不明の個体は含まれていません。
A・Bから始まる番号は野生下で生まれた個体を示しています。
赤字は第17回放鳥個体です。

トキに関するニュース

- 9月12日 第11回飼育繁殖小委員会をトキ交流会館で開催し、遺伝的多様性を確保すること等が確認されました。
- 9月22日 第17回放鳥を実施しました。
- 9月23日 初めてとなるトキ観察イベント「親子で！トキモニタリング体験！」を開催し、小学1年生から中学生までの7組13名の親子が放鳥トキの観察などを行いました。
- 9月26日 佐渡に滞在し実習を行っている大正大学地域創生学部の学生7名が野生復帰ステーションを訪れ、野生復帰の取組を学びました。
- 9月27日 佐渡中等教育学校の生徒6名が野生復帰ステーションを訪れ、トキに対する理解を深めました。

10月の会議・イベントのお知らせ

- 10月上旬 第13回トキ野生復帰検討会を石川県で開催します。
- 10月14日 「野生復帰ステーション一般公開」を13時半から開催します。放鳥前のトキが訓練を行う順化ケージも公開します！
申込みは野生復帰ステーション(0259-24-6151)まで。

ひとりごと（編集後記）

「かわら版」は2012年10月に発行を始めてから丸5年を迎えました。継続は力なりといいますが、その当時のトキのすがたが「かわら版」に残されてきました。地域の取組によって数を増やしたトキの“今”をお伝えし、トキをもっと身近に感じていただきたいという想いのもと、これからも執筆していきます！末永くよろしくお願いいたします。

発行者：環境省 佐渡自然保護官事務所（0259-22-3372）



モニタリング体験(野外観察)



モニタリング体験(順化ケージ見学)





急に肌寒くなり、冬の気配を感じる季節となりました。島内では、すっかり稲刈りが終わり、刈田に降りたトキの姿が目立ちます。

佐渡島内のトキの動き（2017 年 10 月）

➤ 第 17 回放鳥トキの行方

19 羽中 15 羽が 10 月に入ってから観察されており、島内の群れに混ざっている様子です。すでに羽茂地区まで飛来した個体もあります。お近くでトキを見かけたらトキ目撃情報フリーダイヤル(0120-980-551)まで。

➤ ふるさとが恋しい？ No.299

飼育モニターに映る No.299



第 17 回放鳥個体の No.299() は、放鳥以来、野生復帰ステーションのまわりに留まっています。飼育ケージの近くで採餌する様子が、飼育トキの観察モニターに映り込むほど。早く野外の群れに仲間入りしてほしいものです。

➤ トキのみかた

秋から冬にかけて、トキは集団で行動するようになり、刈田に 10 羽以上で降りることもしばしば。トキを観察しやすい季節となりました。観察する時は「トキのみかた」を思い出してください。トキを驚かせることがないように、車から降りないことが鉄則です。絶滅を経て私たちのそばに甦ったトキへ、思いやりの心を持って観察してください。



➤ ねぐら出数 100 羽超！

新穂地区では 1 か所から 114 羽のトキがねぐら出するところの確認されました。過去最多です！

本州のトキの動き

➤ No.276（第 15 回放鳥・メス）が新潟県上越市で確認されました。

トピック ～トキの分散飼育と移送～

トキの飼育施設は佐渡のほかに 4 か所あります（長岡市トキ分散飼育センター、いしかわ動物園、多摩動物公園、出雲市トキ分散飼育センター）。病気が発生する危険性などを考え、分散して飼育を行っているためです。分散飼育地間では、飼育・繁殖の意見交換など技術交流も行っています。この時期になると、各分散飼育地から、次の放鳥や繁殖ペアの候補として、今年生まれた幼鳥などが佐渡に運ばれます。逆に、繁殖を期待され分散飼育地へと移送される個体もあります。各地で育てられたトキやその子孫が、佐渡の空をはばたいているのです。



刈田でエサをとる 7 羽
(No.92,200,293,A38,A62,B32,足環なし)



7 羽の飛翔



水辺の枯れ木にとまる 7 羽
(No.250,A02,A21,A33,B12,B17,足環なし)



慎重に移送されるトキの様子

生息範囲ごとの個体内訳（10月26日時点） ～島内に298羽程度、本州に1羽～

生息範囲	羽数	オス	メス	性別不明 (野生生まれ)
新穂・両津・ 金井地区	156羽	08 23 50 67 85 87 91 92 98 106 107 110 135 136 143 161 172 174 177 179 187 176 204 205 207 209 211 212 213 214 216 221 233 241 242 244 248 249 251 252 253 254 255 256 257 260 263 267 288 289 293 295 296 297 298 299 300 301 303 304 305 306 308 309 310 A09 A16 A18 A19 A22 A34 A38 A43 A48 A50 A53 A55 A57 A59 A60 B02 B03 B06 B07 B15 B30 B38	25 26 93 95 97 114 120 148 149 154 156 157 163 181 182 183 184 190 192 199 200 203 217 218 220 224 230 232 234 237 240 258 259 265 266 268 272 274 275 277 278 280 285 287 302 311 312 313 314 A21 A23 A26 A45 A47 A54 A58 A62 B05 B08 B11 B13 B18 B19 B22 B23 B24 B26 B32 B34	62羽
真野・畑野・佐 和田・相川地区	50羽	33 68 72 74 81 138 170 206 250 261 A02 A13 A25 A28 A32 A35 A39 A40 B12 B14 B16 B21 B35 B36	38 66 78 96 127 201 223 227 239 264 A01 A03 A10 A11 A14 A33 A36 A37 A44 B01 B10 B17 B20 B25 B37 B39	
羽茂・赤泊地区	22羽	11 48 84 86 90 238 246 290 291 294 307 A42 B31 B33	69 79 134 273 284 A04 A24 B29	
本州	1羽		276	
居場所不明	8羽	292	270 279 281 282 283 286 B27	
計	299羽	126羽	111羽	62羽

太字は今年生まれた幼鳥。地区別の羽数に性別不明の個体は含まれていません。
A・Bから始まる番号は野生下で生まれた個体を示しています。

トキに関するニュース

10月5日 出雲市トキ分散飼育センターから佐渡トキ保護センターに4羽のトキが移送され、佐渡トキ保護センターから出雲市トキ分散飼育センターに1羽のトキを移送しました。長岡市トキ分散飼育センターから佐渡トキ保護センターへ3羽のトキが移送されました。

10月11日 第13回トキ野生復帰検討会を石川県で開催し、今後の放鳥計画等を話し合いました。

10月14日 「野生復帰ステーション一般公開」に26名が参加し、普段は入ることができない順化ケージなどを見学しました。

同日 佐渡在来生物を守る会が外来魚ブラックバス等の駆除作業を行いました。

10月19日 いしかわ動物園から佐渡トキ保護センターに11羽のトキが移送され、佐渡トキ保護センターからいしかわ動物園に2羽のトキを移送しました。

10月21日 トキファンクラブ6名が野生復帰ステーションを訪れ、トキに対する理解を深めました。

10月25日 多摩動物公園から佐渡トキ保護センターに6羽のトキが移送され、佐渡トキ保護センターから多摩動物公園に1羽のトキを移送しました。

10月の会議・イベントのお知らせ

11月5日 「佐渡市環境フェア2017」が12時からアミューズメント佐渡で開催されます。

11月11日 新潟大学のフォーラム「森里海を探究しよう」が13時からトキ交流会館で開催されます。

11月19日 「佐渡市地産地消フェスタ」が10時からサンテラ佐渡スーパーアリーナで開催されます。



野生復帰ステーション一般公開

発行者：環境省 佐渡自然保護官事務所（0259-22-3372）

トキのみかた

トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
大きな音や光をださないようにしましょう。
繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





ついに金北山（佐渡の最高峰）が雪化粧をし、雨風が吹き荒れる冬が到来しました。寒くなると人肌が恋しくなると言いますが、トキたちは群れで集まり仲良く過ごしているようです。

佐渡島内のトキの動き（2017 年 11 月）

➤ 外海府地区のトキ

あまりトキが飛来していなかった外海府地区で、3羽のトキ（No.256,264,B07）が確認されました。この3羽は電柱にとまったり、平野部のトキとは違った行動をしているようです。トキが増えるにつれ、個性派のトキも出てきているのかもしれません。

➤ ケージにとまる No.299

放鳥以来、野生復帰ステーションのまわりに留まっている No.299(第 17 回)が、飼育ケージにとまる様子が確認されました。当時の記憶があるのか、自分が入っていたケージのまわりをうろうろしたり、早く野外の群れに入ってほしいものです。



ケージにとまる No.299

➤ トキの羽を見つけたら・・・

トキの換羽が終わり、鮮やかなとき色が目立つようになりました。換羽したトキの羽など、野外で落ちているトキの羽を見つけた場合、拾っても問題ありませんが、拾った羽を人に売ったり、あげたり（無料でも）することは法律で禁止されています。人にあげたりせず、大切にお持ちください。

トピック ～トキのねぐら出ー斉カウント調査～

佐渡島に生息するトキが増え、個体数を正確に把握することが徐々に難しくなりつつあります。そこで 2015 年から新たな方法として「ねぐら出ー斉カウント調査」を試みています。これは、早朝にねぐらから飛び立つトキの数を一斉に数える調査です。

11 月 27 日から 29 日にかけて調査を実施した結果、19 か所から合計 283 羽のトキのねぐら出が確認されました。佐渡島内には 297 羽のトキが生息していると推定されているため、そのほとんどのトキを確認できたこととなります。



電柱にとまる外海府のトキ（No.256,264,B07）



田んぼに降りる 8 羽



とき色の羽で飛翔する No.114



ねぐら出するトキ

生息範囲ごとの個体内訳（11月28日時点） ～島内に297羽程度、本州に1羽～

生息範囲	羽数	オス	メス	性別不明 (野生生まれ)
新穂・両津・ 金井地区	150羽	08 23 50 67 85 87 91 92 98 106 107 110 135 136 143 161 170 172 174 177 179 187 176 204 205 207 209 212 213 214 216 221 241 242 248 249 251 252 253 254 255 257 260 263 267 288 289 293 295 296 297 298 299 300 301 303 305 306 309 310 A09 A16 A18 A19 A32 A34 A38 A43 A48 A50 A53 A55 A57 A59 A60 B02 B03 B06 B12 B15 B21 B35 B38	25 26 93 95 97 114 120 148 149 154 156 157 163 181 182 183 184 190 192 199 200 203 217 218 220 224 230 232 234 237 258 259 265 266 268 272 274 275 277 278 280 285 312 313 314 A10 A26 A33 A36 A47 A54 A62 B01 B05 B10 B11 B13 B17 B18 B23 B24 B25 B26 B32 B34 B37 B39	62羽
真野・畑野・ 佐和田・相川 地区	51羽	33 68 72 74 81 138 206 233 244 250 256 261 A02 A13 A22 A25 A28 A35 A39 A40 B07 B14 B16 B30 B36	38 66 78 96 127 201 223 227 239 240 264 287 A01 A03 A04 A11 A14 A21 A23 A37 A44 A45 A58 B19 B20 B22	
小木・羽茂・ 赤泊地区	22羽	11 48 84 86 211 238 246 290 291 294 307 A42 B31 B33	69 79 134 273 284 311 A24 B29	
本州	1羽		276	
居場所不明	12羽	90 292 304 308	279 281 282 283 286 302 B08 B27	
計	298羽	126羽	110羽	62羽

No.270 が行方不明扱いになりました。

太字は今年生まれた幼鳥。地区別の羽数に性別不明の個体は含まれていません。

A・B から始まる番号は野生下で生まれた個体を示しています。

トキに関するニュース

11月5日 「佐渡市環境フェア2017」が開催されました。トキのブースに多くの方が訪れたほか、ゲストのイルカさんからトキにまつわる講演いただくなど、大盛況でした。

11月19日 「佐渡市地産地消フェスタ」が開催されました。環境省「森里川海アンバサダー」によるトークショーや、トキ認証米10作目を記念するおむすびアートもあり、食と環境のつながりを実感できる内容でした。

両津港トキ写真展のお知らせ

環境省および佐渡トキ保護センターによる「トキ写真展」を開催しています。両津港にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

【期間】2017年11月13日（月）～2018年1月15日（月）

【場所】佐渡汽船両津港シータウン佐渡の1画

【内容】環境省から、人の暮らしの中に生きるトキの様子や、サギ・カラス等その他の生きものと過ごすトキの様子を撮影した写真10点、佐渡トキ保護センターから、放鳥までの飼育最前線の写真10点を展示しています。また、飼育下で実際に使用しているトキのエサや巣材も展示しています。

ひとりごと（編集後記）

トキ写真展の様子

急に冷え込むようになり、あっという間に師走に突入ですね。あっという間にトキも増えた気がしますが、ねぐら出一斉調査でも判明したモニタリングへのご協力、イベントから見られる環境への関心の高さなど、地域の支えがあってこそだと実感しました。

発行者：環境省 佐渡自然保護官事務所（0259-22-3372）



環境フェア



地産地消フェスタ

